

乳がん、子宮がん検診のすすめ

文=竹内 志保(保健師)

check ☑ こんな人は要注意

乳がんになりやすい人

- 年齢40歳以上
- 初潮年齢が早い人
- 出産経験が無い、または初産が30歳以上
- 閉経年齢が高い
- 肥満
- 家族に乳がんになった人がいる

子宮頸がんになりやすい人

- 性交渉の経験がある
- タバコを吸う
- 妊娠、出産の回数が多い



乳 がんにかかる割合は、30歳代から増加し始め、50歳前後にピークを迎え、その後は次第に減少します。乳がんは、自分でも早期発見が可能です。2年に一度の定期検診とあわせて、月一回のセルフチェックも習慣にしましょう。

乳がんの症状は？

乳房のしこり
乳がんは5ミリぐらいから1センチぐらいの大きさになると、自分で注意深く触ると

わかるしこりになります。しかし、しこりがあるからといってすべてが乳がんであるというわけではありません。

乳房のえくぼなど皮膚の変化
乳がんが乳房の皮膚の近くに達すると、えくぼのようなくぼみができたり、皮膚が部分的に赤くはれる場合もあります。

乳房付近のリンパ節の腫れのそば・鎖骨の上下のリンパ節に転移をきたしやすく、こ

これらのリンパ節が大きくなると、リンパ液の流れがせき止められて腕がむくんできたり、腕に向かう神経を圧迫して腕のしびれをきたしたりすることがあります。

子 宮がんは子宮の入り口付近にできる子宮頸がん、奥にできる子宮体がんがあります。

子宮頸がんはヒトパピロウイルスというウイルスが関係しており、性交渉で感染します。そのため他のがんと違い、20〜30代で子宮頸がんにかかる人が多くなっています。ですから20歳を過ぎたら2年に一度、子宮がん検診を受けることをお勧めします。

子宮頸がんワクチン接種が始まっています

子宮頸がんは、がんの中で



年に2回、巡回検診車による婦人科検診を実施しています。2年に一度の受診を心がけましょう。

唯一、ワクチンによる予防が可能です。10歳以上の女性から接種が可能です。(羽幌町では小学6年〜中学1年生の女子に無料接種をしています。対象者には文書を送っています)

婦人科検診を受けましょう

婦人科検診は、2年に一回の受診が可能です。昨年受けていない方、今まで受けたことがない方はぜひ検診を受けましょう。

■今年度の婦人科検診

- ・5月24日〜26日(申込終了)
- ・9月29日(申込は、近くなりましたらお知らせします)